



主な内容

- 2……検証 総合計画の進み具合、パスポート申請・受取
- 3……市立病院だより「きらり」
- 4……1月の相談、健康エブリデー、移動図書館巡回日程

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



11月開催の「とれたて!なばり」では、妻の千代子さんに支えられながら熱唱

との大切さをひしひしと

転落事故で、両手両足は動かせず、言葉も満足に話せないように。命をとりとめたものの、自分ひとりでは何もできないものですから、悔しくて、つらい日々を過ごしていました。

そんなとき、「中山さん、好きな歌はうたわへんの」と民生委員さん。「それや」と思いましたね。医師にも勧められて、言語障害のりハビリも兼ねた発声練習を続けました。とても苦勞しましたが、歌が好きだから頑張れたんだと思います。その後、私を支えていただいた皆さんのおかげで、歌手として自立の道を進むことができました。

励まし、励まされながら...

障害者となって、人の心の温かみや助け合うことの大切さをひしひしと感じています。妻にもたくさん苦勞をかけたと思います。今年は、妻への感謝を込めた新曲「きずな坂」をデビュー20周年の節目として発表しました。

現在73歳。今も不自由な身体ですが、桜まつりなど地元イベント出演や、公民館でのカラオケ指導、そして、福祉施設からは歌謡ショーや私の体験発表など年間60件程度の依頼をいただき、おかげさまで忙しい毎日をごまかしています。

ステージで歌うと、皆さんが笑顔をみせてくれます。それが、また、私を元気にしてくれるんです。これからも、励まし、励まされながら、心を込めて歌い続けていきたいと思っています。

歌手「大和 幸司」として故郷に根付いて活躍

中山 孝雄 さん(中知山)

- 建設業を営んでいた47歳のときに転落事故。医師からは生涯寝たきりの宣告を受けたが、歌との出会いがきっかけとなり、奇跡的な回復をとげて歌手デビュー。今年で20周年を迎えた。
- 福祉施設への慰問などが評価され、平成24年度「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」を授賞



ハンディを乗り越えて。

さまざまな人が地域の中で共に暮らせるまちづくりを進めている名張市一。ハンディのある人がどれだけ心豊かに暮らしていけるかは、社会の豊かさのパロメーターでもあります。今号では、ハンディを乗り越えて、自立と社会貢献を果たしているお二人に話を伺いました。



☎高齢・障害支援室 ☎63-7591

21歳のときでした。病気で、光を感じる程度の視力に。33歳ではり灸マッサージ治療院を開院し、今年で26年目を迎えています。現在は、名張市障害者相談員としても活躍。福祉施設などでマッサージや、はり治療のボランティアにも積極的に取り組む中、今年、「東海テレビひまわり賞」(身体の不自由を克服し、社会で自立している人を顕彰)を授賞

悲観的にならないでほしい

21歳のときでした。病気で、光を感じる程度の視力に。33歳ではり灸マッサージ治療院を開院し、今年で26年目を迎えています。現在は、名張市障害者相談員としても活躍。福祉施設などでマッサージや、はり治療のボランティアにも積極的に取り組む中、今年、「東海テレビひまわり賞」(身体の不自由を克服し、社会で自立している人を顕彰)を授賞

21歳のときでした。病気で、光を感じる程度の視力に。33歳ではり灸マッサージ治療院を開院し、今年で26年目を迎えています。現在は、名張市障害者相談員としても活躍。福祉施設などでマッサージや、はり治療のボランティアにも積極的に取り組む中、今年、「東海テレビひまわり賞」(身体の不自由を克服し、社会で自立している人を顕彰)を授賞

悲観的にならないでほしい



左半身に障害のある妻の眞理子さんに施術。「二人で一人前で行けばいい」と仲がいい。

はり灸マッサージ師、障害者相談員として活躍

山森 克彦さん(桔梗が丘)